

『平和を考える10日間』

(8月6日～15日)

詳しくは自治文化課

わたしたちにとって忘れることのできない8月。広島と長崎に人類初の原子爆弾が投下され、悲惨な戦争が終わったあの8月から69年の歳月が流れようとしています。

市では、過去の悲慘な戦争を振り返り、平和への願いを次の世代に伝えていくことを目的に、昭和57年から、毎年8月6日～15日の期間を「平和を考える10日間」として、平和をテーマにした、さまざまな事業を行ってききました。

今年も、平和への願いを込め、次の事業を行います。

「平和を考える10日間」の事業

事業名	とき	ところ	内容
ピースキャラバン	7月8日(火)	桶川西中学校	市内中学校にて、埼玉県平和資料館の学芸員による実物資料などを使った出前講座を実施します。(事業は終了しました)
	7月15日(火)	加納中学校	
平和を考える写真・資料の展示	8月1日(金)～15日(金)	駅構内	横断幕を掲出します。
	8月6日(水)～15日(金)	見る観るコーナー(駅構内)	戦災や平和に関する写真や資料を展示します。
平和の折鶴募集と広島・長崎への送付	8月6日(水)	広島市長崎市	戦時下の地域の様子や当時の旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場の様子を写真や資料で展示します。
			市民の皆さんが平和を祈願した折鶴を集め、広島・長崎両市に送付します。広島へは、今年度は市長が広島平和記念式典に参加し、折鶴を届けます。(折鶴の募集は終了しました)
サイレン吹鳴	①8月6日(水) 午前8時15分 ②8月9日(土) 午前11時2分 ③8月15日(金) 正午	市内	①広島原爆投下時刻 ②長崎原爆投下時刻 ③終戦記念日 にあわせサイレンを吹鳴します。
親子平和資料館バス見学会	8月8日(金)	埼玉県平和資料館など	市内在住、在学の小学生から中学生までの親子30人を募集し、埼玉県平和資料館、桶川歴史民俗資料館、旧熊谷陸軍飛行学校分教場を見学します。(募集は終了しました)
平和図書コーナー	8月6日(水)～15日(金) ※但し8月11日(月)は休館日	市立図書館	図書館所蔵の平和関係図書の展示と、貸出コーナーを設置します。
戦争体験記頒布	随時	自治文化課	昭和62年から平成18年の間に市民の皆様から寄せられた体験記を頒布しています。 ①いのちの伝言 (500円) ②続いのちの伝言 (200円)



ピースキャラバン (桶川西中学校)

「私の戦争体験記」

市では、「平和を考える10日間」の事業の一環として、過去の悲慘な戦争を振り返り、平和への願いを次の世代に伝えていくことを目的に、昭和62年から「私の戦争体験記」として戦地での体験や戦時中の生活の体験を、市民の皆さんから募集して毎年広報へ掲載してきました。今年度も8月15日の終戦記念日にあわせて戦争体験記のご応募をいただきましたので、ご紹介いたします。

還ってこなかった祖父

三橋 一輝さん

私が父から聞いた戦争体験です。私の祖父、三橋寅蔵は、明治40年、4人兄弟の3男として、北海道増毛町に生まれました。大正14年に志願して海軍に入り、昭和6年5月に満期除隊となりました。昭和9年に結婚し、二人の子どもにも恵まれましたが、戦争が始まり、昭和16年の春に赤紙が来て再び兵役に就きました。

戦争は激化しており、祖父も覚悟の出征だったようです。任地ラバウルからは軍事郵便葉書で便りが来ましたが、その内容は何処で何をしているのかさっぱり分からず、ただ、「元気にしているから安心してくれ……云々」と書いてあるだけでした。こちらでは慰問袋を作り、その内には五銭玉を縫い付けた千人針の手ぬぐいや、胃腸薬のわかもとや正露丸などと共に、出征後に生まれた父の妹の写真を入れて送りました。

太平洋戦争は、アメリカ軍が次第に日本の領土を自由に攻撃するようになり、ついに昭和20年8月15日に終戦となりました。

間もなく、出征兵士たちが次々と復員してきたので、南方にいる祖父もそのうち還ってくるものと思っていました。が、待っても待っても知らせがなく、おかしかった祖母が復員局に問い合わせた

ところ、「お気の毒ですが亡くなっています」と言われ、3人の子どもを抱えた祖母は、悲嘆にくれたそうです。暫くして、栃木県に復員された戦友の高野さんという方が、わざわざ北海道を訪ねてこられて、現地ラバウルでの生活ぶりを遺品とともに知らせてくれました。ラバウルでは、敵の空襲が激しく、僅かな稲とさつまいもを自給自足して飢えをしのいでいましたが、祖父は栄養失調とマラリアの悪化で、終戦の1か月前に海軍病院で亡くなったとのことでした。

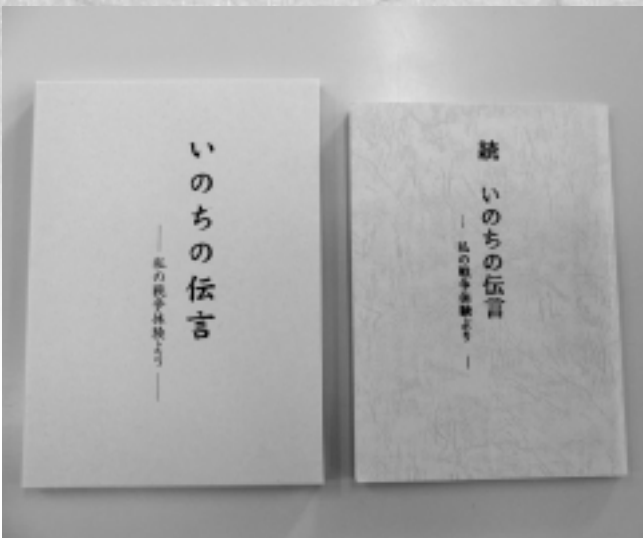
それにしても、当時の交通事情の中で、何十時間もかけて、はるばる訪ねてこられた仲間意識の強さ、暖かい友情を改めて思い知らされました。

その後、海軍からはお悔み状とともに、埋葬したお墓の土少々、印鑑、通帳、昇進任命書が届いたそうです。祖父の遺骨は、いまだにラバウルに残ったままです。祖父や、戦死した大勢の方たちは、日本の国と家族や友人を守るために尊い命を捧げました。我々は、その死を無駄にしないよう、二度と悲惨な戦争を起こさないように、戦争体験を後世に伝えていく義務があると思います。



赤紙(あかがみ) …… 軍の召集令状の俗称。
軍事郵便葉書(ぐんじゆうびんはがき) …… 戦地の軍隊兵士に宛てて自国から発送される、もしくは戦地から自国宛てに発送される郵便。日本では、第二次世界大戦終戦までの間、戦地にいる軍人が日本(内地)或いは日本から戦地の軍人に向けて送るための郵便制度をさす。
慰問袋(いもんぶくろ) …… 戦地にある出征兵士などを慰め、その不便をなくし、士気を鼓舞するために、中に日用品などを入れて送った袋である。ふつう横30cm、縦40cmぐらいの布袋で、中には武運長久の御守、薬品、タバコ、セッケン、缶詰などの日用品と慰問状が入られ、それが契機となって兵士と差出人との間で文通が行われることもあった。袋は家庭で各自が手ぬぐいを二つ折りにして作るほかに市販品もあり、デパートでは中身のはいった既製品も売られていた。

千人針(せんになはり) …… 千人針は、第二次世界大戦まで日本でさかんに行われた、多くの女性が一枚の布に糸を縫い付けて結び目を作る祈念の手法、および出来上がったお守りのこと。武運長久、つまり兵士の戦場での幸運を祈る民間信仰である。



最後の回天特攻隊



辻本 政晴さん

埼玉師範学校同級生は昭和18年9月30日繰り上げ卒業する前に殆ど志願兵として戦場に行ったが、俺は卒業アルバムに平和を願って鳩ではまずいので旧師範の校章鳳凰の鳥を描いた手前もあり、志願せず最後に残った。当時和土村出身の遊馬君（健在）と現役兵として昭和20年5月13日武山海兵団に入隊した。

共に行動しようと一列に並んだ。「番号奇数一歩前！」別れになった。

この頃、先発の志願兵の勅師河原長重君は少尉になって硫黄島で戦死とか聞いている。

もはや戦争も末期、一水兵としてそれに続くことになるのかと思っていたら、形式上の少尉として試験合格、広島近くの大竹海兵団気付海軍潜水学校入校。

海に潜る前に訓練と称する期間があるだろう。学校では、沈みゆく潜水艦の中で事故原因や潜水艦の将来、乗員遺族への心配りを著した遺書を残した佐久間艇長の美談も学習していた。

昭和20年7月8日山口県平生町の海から三隻の特攻隊「多門隊」（楠木正成の幼少

名）を送った。第一種軍装に着替え、皆で別れの帽振れ、三人乗りの三隻は、潜水艦に付添われていたという。

多門隊の三隻は海上を左廻り、別れの帽振れに答え潜って行った。

俺は北方を向き山の峰、我が家に向って死なないことを誓い、あの空に少年の頃、高く上げたトンビダコを上げようと誓った。一行帰りかけ、大塚君にこっそり心の内を伝えた、俺は脱走するからな…と。

その日をうかがっている時広島にピカドン原爆が！

我隊は宮島の対岸の山林へ。八月十五日に解散。ほぼ俺のすじがき通りになって父母に会うことができた。

回天（かいてん）…太平洋戦争で大日本帝國海軍が開発した人間魚雷であり、最初の特攻兵器。

特攻隊（とっこうたい）…特別攻撃隊の略で、相手に対し、体当たりもしくはそれに類似した攻撃法を行う部隊のこと。

師範学校…戦前に存在した、初等・中等学校教員の養成（師範教育）を目的とした中等・高等教育機関。

武山（たけやま）海兵団…現…横須賀の陸上自衛隊駐屯地

和土村（わどむら）…現…さいたま市岩槻区

帽振れ…帽子を振って別れをすること。

東京大空襲の直後を 辿った記憶



高橋 眞次さん

昭和20年3月10日の午前10時頃、当時旧制中学2年生の私は、省線電車有楽町駅のホームで焦土と化した東京の姿に呆然と立ち尽くしていました。その日の早朝、横須賀の追浜で軍の飛行場構築のための土工の飲場を経営していた、母方の叔父の家から品川経由で有楽町までは何とか辿り着きましたが、それから向島の自宅までは徒歩で帰るより手段はありませんでした。

架線は焼け落ちていましたが、残っていた都電のレールを頼りに歩き始めた目には一面の焼け野原、道の両脇には泥人形のような焼死体、髪を焦し煤に汚れた若い母親の背の幼児は首を後ろに垂れ息をしている気配はありません。その様な風景に目を背けて、上野から浅草と夢遊病者の様に歩を進めた私が、吾妻橋まで辿り着いた時信じられない状況を目にしました。

橋の下は、沢山の水死体で川面が見えないのです。烈火に追われ、生きる一縷の望みを水面に託したのでしょうか。老若男女の水死体は、憐れより恐ろしく、涙を流しながら橋を渡り、隅田公園に入ってホッと

たのは、公園入口から牛島神社までの隅田堤に家財を一杯に積んだ、リヤカーや大八車の柄や荷に凭れて眠っている人たちでした。成人した私が就職した企業で、酸素欠乏症の知識を習得した時に、東京大空襲の朝、隅田堤で眠っていた人達は、向島からの焰と浅草方面からの熱風で、あの場所が無酸素状態となり、疲れた眠りでは無く、死亡していたのだと気付いた時には、肌粟が生じました。辿りついた我が家は幸いに消失は免れましたが、多くの小学同級生が住んでいた町々、通い立ち読みをした古書店等、想い出が詰まった場所が全て灰燼となった淋しさ悔しさは、忘れることは出来ません。中学の級友の約半数は3月10日以降、姿を見せませんでした。

友爆ぜし赤き記憶や春半ば 眞次

旧制中学（きゅうせいちゅうがく）…旧制中学校のこと。旧制中学校とは学校教育法が施行される前の日本で、男子に対して中等教育（普通教育）を行っていた学校の1つである。当時の2年生は13歳。

省線電車（しょうせんでんしゃ）…日本国有鉄道のこと。日本国有鉄道と呼ばれる前は、「院電」（いんでん、鉄道院時代）や「省線電車」（しょうせんでんしゃ、

鉄道省・運輸通信省・運輸省の時代）と呼ばれていた。

大八車（だいはちぐるま）…江戸時代から昭和時代初期にかけての日本で荷物の輸送に使われていた総木製の人力荷車である。

「長寿を祝して」 9月敬老事業のご案内

9月15日の敬老の日を迎えるにあたり、長年にわたり社会に貢献され、また桶川市を暖かく見守り、育てていただいた皆様に心から感謝し、お祝い申し上げます。

わが国の平均寿命も延び、国際的にも長寿国の一員となっております。これもひとえに皆様方の日ごろの健康管理へのご努力と、医療の進歩が要因に挙げられます。

そうした高齢者の方お一人おひとりが、これまでの豊富な知識と経験を生かし、健康で充実した生活が送れますよう、また生涯にわたって生きがいを持ち、安心して暮らすことができますよう、ご祈念申し上げまして9月の敬老事業をご案内します。

敬老事業

※満年齢は、平成26年度内に迎える年齢となります。

敬老祝金の贈呈

【対象者の年齢と支給金額】

満80歳、88歳、90歳、99歳および満101歳以上

▶祝金 10,000円

満100歳▶祝金 100,000円

贈呈方法▶地域の民生委員を通じて贈呈

※満100歳の方は、誕生月の贈呈となります。

詳しくは☎高齢介護課

市内循環バス

「べにばな GO」の無料乗車

対象▶75歳以上

利用期間▶9月1日(月)~30日(火)

利用方法▶8月下旬に郵送される「バス無料乗車券(はがき)」を提示してください。

詳しくは☎高齢介護課

地域等 敬老事業助成金

自治会や地域などが行う敬老事業に対して、その事業費の助成を行います。

詳しくは☎高齢介護課

「カラオケ発表会」

と き▶9月2日(火)

午前10時開始

ところ▶老人福祉センター

費用▶無料

対象▶60歳以上

申込み▶8月11日(月) 午前9時から

※先着60人

申込み・問合せ▶老人福祉センター

☎728-1122

老人福祉センター 「敬老ビンゴ大会」

と き▶9月15日(月・祝)

午前10時開始

ところ▶老人福祉センター

費用▶無料

対象▶60歳以上

問合せ▶老人福祉センター

☎728-1122

(公財) けやき文化財団主催

◎「祝・敬老 三船和子 結城和也 二人の歌謡ショー」

と き▶9月7日(日)

午前の部 開演午前11時(開場10時30分)

午後の部 開演午後2時30分(開場2時)

ところ▶市民ホール

販売▶市民ホール受付

問合せ▶市民ホール☎789-1113

◎「べに花ふるさと館」の食事割引

内容▶うどん、そばが75歳以上の人は半額、88歳以上の人は無料

期間▶9月1日(月)~30日(火)午後1時~8時

※日曜日は混雑しますので、なるべく平日の利用をお願いします。

月曜日は休館。15日(月・祝)は開館し、16日(火)は休館となります。

利用方法▶8月下旬に郵送される「食事券(はがき)」を提示してください。※期間中1回限定・本人のみ有効

問合せ▶べに花ふるさと館☎729-1611

実施中です！

健康長寿いきいきポイント事業

～健康長寿いきいき手帳交付申請窓口が増えました～

市では、社会参加やいきがづくりを積極的に支援することにより、高齢者の外出や交流を促し、閉じこもりや孤立化を防ぐことを目的に「健康長寿いきいきポイント事業」を実施しています。また、健康長寿いきいき手帳・ポイントカードが、各公民館でも発行できるようになりました。

対象▶65歳以上の市民

対象事業▶市が指定した各種事業（健康診査、介護予防事業、社会参加、生涯学習など）に参加することでポイントを獲得できます。（ポイント数は、高齢介護課、社会福祉協議会、公民館で配布しているチラシ、ホームページでも確認ができます）

参加方法▶次の申請窓口にて介護保険被保険者証を持参し、申請してください。
健康長寿いきいき手帳・ポイントカードをお渡しします。

申請窓口▶高齢介護課、社会福祉協議会、各公民館

ポイントの獲得について▶

対象事業に参加し、「ポイントカード」にスタンプを押印します。また、各医療機関で実施する健康診査、各種がん検診、人間ドック、高齢者インフルエンザについては、検診結果（高齢者インフルエンザについては、インフルエンザ接種済証）とポイントカードを高齢介護課・保険年金課（市役所内）、健康増進課（保健センター内）に持参してください。ポイントを獲得できます。



ポイント対象事業の様子



広報おけがわ紙面上で、健康長寿いきいきポイント事業の対象事業に、左記のマークを記載しています。みんな参加するべに！



問合せ☎高齢介護課または、社会福祉協議会☎728-2221